

報道関係者各位
プレスリリース

2023年5月8日
休暇村南伊豆

**吉田松陰・ペリー・坂本龍馬に思いを馳せる下田歴史散歩
日米和親条約付録下田条約が調印された了仙寺ではアメリカジャスミンが見頃
～宿泊は下田名所めぐり遊覧バスで終点の休暇村南伊豆へ～**

伊豆半島の最南端の町、南伊豆町に立地するリゾートホテル「休暇村南伊豆」(所在地：静岡県賀茂郡南伊豆町湊 889-1 総支配人：引地昌宏)の近くに位置する観光地「了仙寺」では、5月中旬より約1,000株にも及ぶアメリカジャスミンが見頃を迎えます。幕末に日米和親条約付録下田条約調印の舞台となった了仙寺は全国的にも珍しい、アメリカジャスミンの名所。東海バスでは、「了仙寺」を始めとする歴史ある観光名所(ペリーロード・龍宮窟・宝福寺など)を効率よく巡り、終点の休暇村南伊豆まで走行する定期観光バス「下田名所めぐり遊覧バスRコース」を土日、祝日に限り運行しています。



アメリカジャスミンが咲き誇る了仙寺は別名「ジャスミン寺」とも

◆そのとき歴史が動いた ～歴史を体感する街・下田～

1854年(嘉永7年)、日本開国を要求するペリー艦隊の黒船来航により、開港したのが下田です。吉田松陰、坂本龍馬、勝海舟など幕末史に残る数々のエピソードが残る歴史ある港町として知られています。下田の街中からは徒歩圏内で史跡、名所、博物館などが随所に点在しており、歴史散歩が楽しめます。下田の玄関口「伊豆急下田駅」から徒歩15分ほどのところに、ペリー提督が歩いたとされるペリーロードがあり、その終着点である了仙寺は、ペリー提督一行の応接所となった場所でもあり、日米和親条約付録下田条約が調印された場所です。日本にとって大きく歴史が動いた瞬間でした。

今では、歴史を感じる観光名所であると同時に、例年5月には1,000株におよぶアメリカジャスミンが見頃を迎え、多くの観光客が訪れます。

◆歴史を感じる下田の観光名所

<了仙寺>



黒船で来航した日米和親条約締結下田条約締結の場所。5月中旬より境内からペリーロードにかけてアメリカジャスミンが咲き誇ります。

<ペリーロード>



明治・大正の面影を残す異国情緒あふれる雰囲気のある小径。幕末期、ペリー提督一行が了仙寺まで行進したことから名付けられました。

<龍宮窟>



パワースポットとして名高い龍宮窟は、海底火山の火山灰などの地層できており、崖のもろい部分に波がうちつけ、削られてできた海食洞です。

<宝福寺>



米総領事ハリスに仕え、後に非業の死を遂げた、お吉の墓所のあるお寺。敷地内にはお吉記念館があり、見学することができます。

◆定期観光バス：下田名所めぐり遊覧バス

コース：絶景のラブパワースポット龍宮窟と下田の歴史めぐりバス（Rコース）

期間：通年の土日、祝日のみ（7/16～8/31を除く）

料金：大人 2,110円・小人 1,070円

行程：14：10 伊豆急下田駅のりば

14：25 龍宮窟（見学 25分）

15：00 下田開国博物館・豆州庵（見学 15分）

15：20 了仙寺・ペリーロード散策（見学 35分）

16：00 宝福寺（見学 25分）

16：30 伊豆急下田駅

16：50 休暇村南伊豆

申込先：株式会社東海バス 下田営業所（TEL：0558-22-2514）

備考：1ヶ月前より予約可。当日のお申込みは、席に空きがあれば利用可。

◆休暇村南伊豆自慢 「グランビュッフェ」

食材をふんだんに使った自慢のビュッフェ。オープンキッチンではお客様の目の前で調理する握り寿司や天婦羅、ローストビーフなど「お客様の食べたい」をご用意しています。

また、5月31日までは、スタンダードのグランビュッフェに加え金目鯛メニューを数多く取り入れた期間限定特別フェア「春の金目鯛フェア」を開催中です。

期 間：通年 ※春の金目鯛フェアは4月1日～5月31日の期間

料 金：1泊2食16,500円(税込)～ ※平日和室2名1室利用時利用時の1名様料金



◆休暇村南伊豆

伊豆半島の最南端、南伊豆弓ヶ浜にある温泉リゾート。富士箱根伊豆国立公園に位置し、新鮮な海の幸を使ったお料理や、湯量豊富な温泉では庭園露天風呂と源泉かけ流しの壺湯が魅力です。弓ヶ浜では海水浴はもちろんシュノーケリングや磯遊びなどの多様なアクティビティも楽しめます。

所在地：〒415-0192 静岡県賀茂郡南伊豆町湊 889-1

総支配人：引地 昌宏

URL：<https://www.qkamura.or.jp/izu/>



◆自然にときめくリゾート 休暇村

日本の景色を代表する国立公園・国定公園など優れた自然環境の中にあるリゾートホテル。35か所ある休暇村は、「自然にときめくリゾート」のコンセプトのもと、地元の食材を活かした料理や、地域の自然、文化、歴史とのふれあいプログラムなど、その土地ならではの魅力にふれる場を提供し、すべてのお客様に心が自然にときめくひとときをお届けします。



【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

休暇村南伊豆 担当：松田・井上

TEL：0558-62-0535 FAX：0558-62-0536

E-mail：kouho_pr@qkamura.or.jp